

令和2年1月16日
県民交流課広報広聴室 池田
内線 3812
外線 225-1362

令和2年石川県広報コンクールの審査結果について

県では県内市町の広報活動向上を目的に「石川県広報コンクール」を開催しており、この度、応募作品の審査を行った結果、下記のとおり入賞作品を決定しましたのでお知らせします。

1 審査結果

部 門		最優秀賞	優秀賞
広報紙	市の部	広報すず 7月号	広報ななお「七尾ごろ」10月号
	町の部	広報宝達志水 10月号	広報つばた 9月号
広報写真	一枚写真部	広報あなみず 9月号(表紙)	広報ななお「七尾ごろ」9月号(表紙)
	組み写真部	広報あなみず 11月号(P4~5)	広報ななお「七尾ごろ」9月号(P2~3)
映 像		「したいこと、能美市だったら 叶うかも」(能美市)	「東京2023加賀【加賀市新幹線対策室】 Season3」(加賀市)

2 応募作品数

部 門		令和2年応募	参考(昨年応募)
広報紙	市の部	8作品	7作品
	町の部	4作品	2作品
広報写真	一枚写真部	14作品	13作品
	組み写真部	8作品	9作品
映 像		4作品	4作品

3 審査会の概要

(1) 日 時 令和2年1月15日(水) 於：石川県庁

(2) 審査員

- ・出版プランナー おくひら 奥平 三之
- ・コピーライター みやほ 宮保 真
- ・アートディレクター やなぎ やち 柳谷内 正志
- ・県広報広聴室長 青木 美紀

4 その他 各部門の最優秀賞作品は、(公社)日本広報協会が主催する全国広報コンクールに推薦する。

参 考 <審査員の講評(最優秀作品)>

1 広報紙部門

① 市の部「広報すず 7月号」

- SDGsという、おそらく多くの人にとって、「聞いたことがあるけど詳しくは知らない」テーマを非常に丁寧に扱い、かつ市の魅力発信と活動促進につなげている。
- 新しい取り組みに対して、制度とその内容を紹介するにとどまらず、地域の人々個々にテーマを掘り下げていることまで展開し、加えてあなたのこととして考えさせる企画まであり、ストーリーが完結している。
- タイトルが上手い。デザインも爽やかで好感が持てる。



② 町の部「広報宝達志水 10月号」

- 特集企画にオリジナリティがある。各国をテーマに友禅を作る面白い企画。
- 少ないカラーページを有効に活用した特集企画だと思った。



2 広報写真部門

① 一枚写真部「広報あなみず 9月号（表紙）」

- 広がる海と空の他に何も無い中に置かれていることが、一層生徒の心を伝え、「ひと夏の勇氣」というコピーと相まって感動的である。一編の詩を読むかのように、出会えてよかった一枚だった。
- コピーが写真をさらによくする好例。コピー一本で写真に物語が生まれている点を評価。
- 写真としてはダントツでNo.1。男の子の「怖いし、いやや。」が聞こえてくる。



② 組み写真部「広報あなみず 11月号（4～5ページ）」

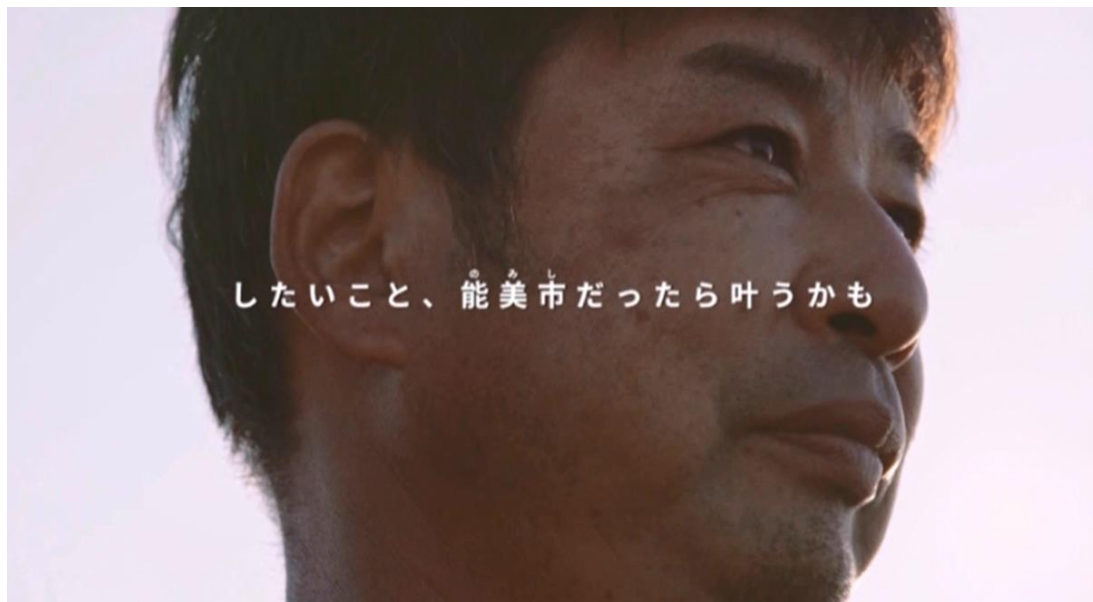
- 祭りの楽しさを感じさせる表情の老若男女を並べた画像をメインとし、サブカット群を下で押さえるバランスが良いと思った。
- 住民の表情がよく撮れている。編集者が中に入り楽しんでいるからこそできる展開。



3 映像部門

「したいこと、能美市だったら叶うかも」(能美市)

- 「したいことが叶う町」というコンセプトがしっかりと表現されている。芋のアップ、蛙の跳ぶ畑、働く姿、能美の自然、ドローン画像も活かされて効果的。
- 一見不要に思われるカットまで美しく、全体として素敵な空気感を持つ映像になっている。風景も人も魅力的で、地域のイメージアップにちゃんと繋がる作品。
- しっかり作られている。純粹に丸いも作りが魅力的に見えるし、能美の可能性を想像させる。



※ 受賞作品については、広報広聴室にて閲覧することができます。